

# 令和7年度事業報告

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び(社)青森県肉用牛協会が再編統合し名称を「社団法人青森県畜産協会」に変更した。

平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年4月1日に青森県知事から移行認可を得て「一般社団法人青森県畜産協会」に移行した。

### 2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定向上及び安全で良質な畜産物の生産と流通に関する事業を行い、畜産の振興に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に係る生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に係る調査・研究及び情報の収集・提供並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 草地基盤や自給飼料に係る調査・指導及び放牧促進に関する事業
- (5) 畜産物に係る普及啓発及び流通・消費拡大に関する事業
- (6) 経営安定のための肥育牛及び肥育豚に係る生産者積立金及び補填金の交付等に関する事業
- (7) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛生産者補給金の交付等に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に係る技術指導及び予防接種並びに家畜伝染病の発生時における損失補填金の交付等に関する事業
- (9) 農場の生産衛生の指導及び検査並びに畜産物の安全性確保に関する事業
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

### 5. 会員の状況

区 分	年度当初 会 員 数	令和7年度		年度末 会 員 数	備 考
		増	減		
正 会 員	77	0	0	77	
賛助会員	4	0	0	4	
計	81	0	0	81	

6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル2F）

7. 役員に関する事項

(1) 役員の変動

区分	氏名	推薦団体	年月日
任期満了 退任・副会長	山崎 憲久	旧上十三地区家畜衛生推進協議会	R7. 6. 18
任期満了 退任・理事	小又 勉	七戸町	R7. 6. 18
任期満了 退任・理事	千葉 準一	青森県農業共済組合	R7. 6. 18
就任・理事	野月 浩	県南地区家畜衛生推進協議会	R7. 6. 18
就任・理事	白戸 明	津軽地区家畜衛生推進協議会	R7. 6. 18
就任・理事	川村 高明	一般社団法人青森県養豚協会	R7. 6. 18
就任・理事	若林 政秀	全国農業協同組合連合会青森県本部	R7. 9. 12
就任・理事	水戸 隆璽	青森県農業共済組合	R7. 9. 12
退任・理事	山内 正孝	青森県畜産農業協同組合連合会	R7. 11. 26

8. 職員に関する事項

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	備考
16	0	0	16	(正職員 8名、嘱託2名、臨時 5名、 管理獣医師 1名、非常勤を除く。)

9. 総会及び理事会の開催に関する事項

(1) 第1回理事会

令和7年5月23日、アップルパレス青森

理事現在数13名、出席理事10名、出席監事2名

[議決事項]

第1号議案 令和6年度事業報告及び計算書類等の承認について

第2号議案 令和7年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和7年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について

第4号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書等の決定について

第5号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の返還について

第6号議案 任期満了に伴う役員候補者について

第7号議案 第22回定時総会の開催期日及び提出議案について

第8号議案 第2回理事会の開催について

[報告事項]

- (1) 業務の執行状況について
- (2) 公益目的支出計画実施報告書について

(2) 第22回定時総会

令和7年6月18日、アップルパレス青森

[議決事項]

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び計算書類の承認について
- 第2号議案 令和7年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について
- 第3号議案 令和7年度事業計画及び収支予算書の報告について
- 第4号議案 令和7年度役員報酬について
- 第5号議案 役員を選任について

(3) 第2回理事会

令和7年6月18日、アップルパレス青森

理事現在数12名、出席理事9名、出席監事2名

[議決事項]

- 第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選任について

(4) 第3回理事会（書面議決）

令和7年8月22日

理事現在数12名、同意理事12名、承諾監事2名

[議決事項]

- 第1号議案 理事の選任について
- 第2号議案 臨時総会（書面議決）の開催について

(5) 臨時総会（書面議決）

令和7年9月12日 青森県畜産協会 会議室

[議決事項]

- 第1号議案 役員（理事）の選任について

(6) 第4回理事会

令和8年2月20日、アップルパレス青森

理事現在数13名、出席理事9名、出席監事2名

[議決事項]

- 第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算書の変更（補正）について
- 第2号議案 令和8年度事業計画及び収支予算書について（暫定）
- 第3号議案 諸規定の一部変更について
- 第4号議案 令和8年度各種事業手数料について
- 第5号議案 理事の取引（利益相反）の承認について

[報告事項]

- (1) 業務の執行状況について
- (2) 令和7年度青森県公社等経営評価委員会評価結果について
- (3) 資金の運用について
- (4) その他

(7) 第5回理事会（書面議決）

令和8年3月27日

〔議決事項〕

第1号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書の変更（補正）について

10. 監事会等の実施状況

(1) 監事会

期日場所：令和7年5月13日、青森県畜産協会 会議室

〔監査事項〕 令和6年度会計事務及び業務に関する監査について

(2) 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

① 令和7年 5月13日、令和6年度決算財務調査について

② 令和7年11月25日、令和7年度財務調査（前期）について

③ 令和8年 3月18日、令和7年度財務調査（後期）について

④ 令和8年 3月31日、予防事業ワクチン在庫の現地確認調査（十和田市）

11. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金（正会員等61団体）

（単位：円）

区 分	経営支援（価格安定）			家畜衛生	合計
	肉用子牛	肉 豚	（計）		
期首残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000
増 減	0	0	0	0	0
期末残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000

注：肉用子牛に全国肉用牛振興基金協会からの5,000,000円を含む。

12. 会員名簿

(1) 正会員

R8. 3. 31 現在

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青 森 県	42	青森県軽種馬生産農業協同組合
2	青 森 市	43	(公社) 青森県獣医師会
3	弘 前 市	44	(一社) 青森県配合飼料価格安定基金協会
4	八 戸 市	45	(一社) 青森県養豚協会
5	黒 石 市	46	青森県養鶏協会
6	五 所 川 原 市	47	(公社) あおもり農業支援センター
7	十 和 田 市	48	青森農業協同組合
8	三 沢 市	49	つがるにしきた農業協同組合
9	む つ 市	50	ごしょつがる農業協同組合
10	つ が る 市	51	つがる弘前農業協同組合
11	平 川 市	52	津軽みらい農業協同組合
12	平 内 町	53	十和田おいらせ農業協同組合
13	今 別 町	54	ゆうき青森農業協同組合
14	外ヶ浜町	55	おいらせ農業協同組合
15	蓬 田 村	56	八戸農業協同組合
16	鯡ヶ沢町	57	三戸畜産農業協同組合
17	深 浦 町	58	五戸畜産農業協同組合
18	藤 崎 町	59	三本木畜産農業協同組合
19	鶴 田 町	60	青森県七戸畜産農業協同組合
20	中 泊 町	61	田名部畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	62	大間町畜産農業協同組合
22	七 戸 町	63	深浦畜産農業協同組合
23	六 戸 町	64	田代牧野畜産農業協同組合
24	横 浜 町	65	深持牧野畜産農業協同組合
25	東 北 町	66	奥瀬牧野畜産農業協同組合
26	おいらせ町	67	法量牧野畜産農業協同組合
27	六ヶ所村	68	県南地区家畜衛生推進協議会
28	大 間 町	69	津軽地区家畜衛生推進協議会
29	東 通 村	70	つがる市屏風山畜産組合
30	佐 井 村	71	(農) 和平高原開発農場
31	三 戸 町	72	(農) 北栄トラクター利用組合
32	五 戸 町	73	(農) 吹越台地飼料生産利用組合
33	田 子 町	74	青森県養蜂協会
34	南 部 町	75	雪印種苗(株)十和田営業所
35	階 上 町	76	ヤマアグリジャパン(株)東日本カンパニー北東北営業部青森事務所
36	新 郷 村	77	みらいのアグリ(株) (北原電牧)
37	青森県農業協同組合中央会		
38	全国農業協同組合連合会青森県本部		
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部		
40	青森県農業共済組合		
41	青森県畜産農業協同組合連合会		

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	3	津軽地域馬肉振興協議会
2	青森県動物薬品器材協会	4	サージミヤワキ(株)札幌営業所

## 13. 役員名簿

R8.3.31 現在

役 職	氏 名	区分	推 薦 団 体
会 長	小 山 田 久	非常勤	学識経験者
副 会 長	倉 光 弘 昭	非常勤	つがる市
副 会 長	若 林 政 秀	非常勤	全国農業協同組合連合会青森県本部
専務理事	中 野 晋	常 勤	学識経験者
理 事	若 宮 佳 一	非常勤	五戸町
理 事	畑 中 稔 朗	非常勤	東通村
理 事	小山田 富 弥	非常勤	公益社団法人青森県獣医師会
理 事	野 月 浩	非常勤	県南地区家畜衛生推進協議会
理 事	白 戸 明	非常勤	津軽地区家畜衛生推進協議会
理 事	天 間 一 博	非常勤	ゆうき青森農業協同組合
理 事	川 村 高 明	非常勤	一般社団法人青森県養豚協会
理 事	水 戸 隆 璽	非常勤	青森県農業共済組合
理 事	金 子 春 雄	非常勤	一般社団法人青森県配合飼料価格安定基金協会
代表監事	白 戸 勝 一	非常勤	学識経験者
監 事	斗 澤 康 広	非常勤	十和田おいらせ農業協同組合

## Ⅱ 事業別実績概要

### 一般会計

#### 1 経営支援対策

##### 1. 補助事業

###### (1) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構補助）

###### ①肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業費 7,231,276円）

###### ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等の事務を行った。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告した。

###### イ 指定協会調査指導

肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に向け、協会が事務委託した農協等が行う事務の執行についての点検、調査等を実施した。

###### ②指定協会運営体制支援事業（事業費 5,538,760円）

協会の運営体制を整備し、肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行した。

###### (2) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助・事業費 6,000,461円）

地域の活性化に重要な役割を果たしている肉用牛について、高齢化等に対応する肉用牛ヘルパー組織の取組に支援した。

###### ① 肉用牛ヘルパー推進（補助率：1/2）

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助（2団体 4,582,017円）

###### ②肉用牛振興推進指導

推進会議や事業推進指導等の実施（1,418,624円）

###### (3) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地全協補助・事業費 22,224,000円）

###### ①畜産経営の支援体制の強化を図る事業

県の支援を受けながら、畜産経営の支援体制を整備し、経営や生産技術を指導したほか、畜産経営に対する基盤強化事業及び所得向上対策事業に取り組んだ。

また、堆肥ネットワーク推進事業として、畜産堆肥の利用拡大に向け、生産者側である畜産農家と利用者側である耕種農家とのマッチングを行った。

・堆肥展示会 相談窓口設置（地域相談員、協会職員）6回

###### ②地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

地域畜産の活性化のため、畜産振興対策事業として畜産共進会等で生産技術等の指導助言と副賞（15回38点）の授与を行ったほか、各種事業の普及啓発を行うため畜産協会だより（年2回・600部）を発行した。

また、安全かつ安定的な食の提供に資するため、家畜衛生事業全般を実施したほか、青森県養蜂協会の事務局を運営し、はちみつ品評会の開催や、県内のイベントでPRを行うことで、県産はちみつ等の普及を図った（5か所）。

###### ③馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて、新たな競馬ファンの獲得による地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県産畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬場及び水沢競馬場の開催に合わせ畜産フェアを開催した。併せて地方競馬のPRを行った。

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 4,152,704円）

畜産特別資金を必要とする経営体の早期把握に努めるとともに、事業の適正かつ円滑な実施のため、融資機関や借入者に対する必要な指導と支援を行った。

①計画作成指導 [対象者 0戸]

②改善計画見直し指導 [対象者 0戸]

③改善計画達成指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
(改) 大家畜特別支援資金	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸
(新) 大家畜特別支援資金	2 戸	2 戸	2 戸	0 戸
畜産経営改善緊急支援資金(大家畜)	3 戸	3 戸	3 戸	0 戸
計	6 戸	6 戸	6 戸	0 戸

(5) 優良和子牛生産推進緊急支援事業（機構補助・事業費 734,546 円+44,331,831 円）

飼養管理向上のためのメニューに取り組む和子牛生産者に対し、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、奨励金を交付した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の交付契約を締結し、かつ事業参加申込書を提出した者

②奨励金：黒毛和種 1,474 頭 44,100,000 円（令和7年1～3月分）

その他の肉専用種 2 頭 40,000 円（令和6年4月～令和7年3月分）

令和7年度の発動実績なし

(6) 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（機構補助・事業費 734,686 円）

和子牛産地の基盤強化に取り組む和子牛生産者に対し、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合の奨励金交付を円滑に実施するため、事業内容の周知等を行った。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の交付契約を締結し、かつ事業参加申込書を提出した者

②奨励金：令和7年度の発動実績なし

(7) 繁殖経営緊急支援事業（県補助・事業費 446,937,355 円）

子牛生産費の上昇及び販売価格の低迷により経営が悪化している繁殖農家の負担を軽減し、経営改善の取組を支援するため、黒毛和種子牛の市場への出荷頭数及び自家保留頭数に応じ、頭数に対して補助金を交付した。

①補助額：1 頭当たり 60,000 円

②補助金交付：7,441 頭、446,460,000 円

(8) 配合飼料等価格高騰緊急対策事業

（県補助 事業費（実施）1,736,363,564 円、（基金造成）489,532,000 円）

①助成金の交付（県の令和6年度補正予算分）

国の配合飼料価格安定制度に加入している県内の畜産経営体が、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）に購入した配合飼料を対象に、購入費用の一部を助成した。

②交付準備金の基金造成（県の令和7年度補正予算分）

県内の畜産経営体が令和7年度に購入した配合飼料を対象に、購入費用の一部助成をするための基金を造成した。

## 2. 受託事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構委託・事業費 10,818,419円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費との差額の9割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度を円滑に推進するため、積立金管理者として機構から業務を受託し、3つの品種について、補填金の交付事務を適切に行った。

①対象家畜

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計	備 考
積立金取扱頭数	9,628 頭	8,939 頭	6,849 頭	25,416 頭	

②交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の9割

③事業推進委託等（事務委託先：12団体）

④補填金の交付状況（令和7年4月～令和8年3月支払分）（単位：円）

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
機構交付金	72,258,706	10,258,358	117,965,539	200,482,603
生産者積立金	24,086,325	3,419,485	39,321,875	66,827,685
計	96,345,031	13,677,843	157,287,414	267,310,288

⑤令和7年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
1頭当たり積立金	19,000円	17,000円	18,000円	

(2) 畜産経営支援体制確立事業（県委託・事業費 2,401,656円）

高度な技術を持つ生産性の高い畜産経営体を育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行った。

- ①地域指導相談窓口の配置 4か所（青森市2か所、八戸市、六ヶ所村）相談件数 46件
- ②畜産経営技術の総合支援個別支援 118件
- ③ホームページによる情報提供 12回更新（家畜市場成績、県内畜産イベント情報等）

(3) 畜産クラスター全国実態調査事業（中央畜産会委託・事業費 45,633円）

畜産クラスターの取組推進に係る経営体の指標作成のための調査を行った。（2戸）

(4) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業・機械導入事業）

（中央畜産会委託・事業費 3,400,214円）

畜産クラスター計画に位置づけられている地域の中心的な経営体を対象に、収益力強化等に必要機械装置の導入支援を行った。

区 分	補助金配分件数	うち参加申請件数	うち承認件数	備 考
令和3年度	137 件	93 件	93 件	
令和4年度	123 件	91 件	44 件	
令和5年度	47 件	36 件	30 件	
令和6年度	34 件	33 件	30 件	
令和7年度	22 件	18 件	18 件	
計	363 件	271 件	215 件	

令和7年度の補助金配分額	77,717,000 円
平成28年度～令和7年度の配分合計額	2,638,802,000 円

(5) ICT化等機械装置等導入事業（畜産ICT事業）（中央畜産会委託・事業費 139,046円）

令和7年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。

- (6) 地域畜産支援指導等体制強化事業（中央畜産会委託・事業費 2,508,589円）  
生産者の組織整備（仲間づくり）に向けた取組を行ったほか、専門家（畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、HACCP指導相談員等）による畜産の経営技術、制度資金等の各種相談に応じる畜産経営窓口を設置した。
- (7) 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働省力化対策事業）（中央畜産会委託・事業費 617,286円）  
令和7年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。
- (8) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 291,146円）  
畜産近代化リース事業により整備したトラクターなどの畜産関係機械施設の利用状況調査や指導、新規開拓に係る調査を行った。  
① 利用状況調査・指導：4戸、基数：8基  
② 新規開拓調査：1団体
- (9) 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 494,764円）  
農業者団体が行う難防除雑草の駆除をはじめとする草地生産性向上のための取組が円滑に進むよう、日本草地畜産種子協会の事務委託を受け支援を行った。  
① 事業参加者 4戸  
② 事業対象面積 3.55ヘクタール
- (10) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会委託・事業費 1,742,115円）  
肉用牛の生産基盤の強化を図るため、高齢の繁殖雌牛から増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛へ更新する場合に、奨励金を交付した。  
①奨励金単価：優良な繁殖雌牛100千円、希少な父牛に由来する繁殖雌牛150千円  
②対象上限：1生産者当たり25頭を上限  
③奨励金：107戸、229頭、24,000,000円
- (11) 畜産経営高度化指導推進事業（中央畜産会委託・事業費 174,001円）  
経営指導指標作成に必要な経営事例の調査（2戸）を行った。
- (12) 経営指導技術向上事業（中央畜産会委託・事業費 286,000円）  
畜産経営支援指導のスキル習得・向上を図るため、外部オンライン研修に職員を派遣した。

### 3. 協会単独事業（自主事業）

- (1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 3,960,190円）  
肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先(12団体)に対し、委託事務に要する経費等を助成した。
- (2) 畜産振興対策事業（事業費 2,316,762円）  
県内の畜産経営の安定や県産畜産物のPRなどの畜産振興のため、畜産コンサルタントや畜産物の価格安定、肉用牛の高品質化に向けた取組等について、地全協や機構、県の事業と連携して実施した。

### 4. 馬事畜産振興対策事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて地方競馬の活性化をはじめ、畜産の普及啓発と県内の畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬場における地方競馬の観戦ツアーを開催した。

- ①畜産フェア (R7.6.15 奥州市 200個、R7.10.12 盛岡市 200個)
- ②盛岡競馬場観戦ツアー (R7.9.7 岩手県盛岡市) 72名(うち協会 5名)
- ③ // 記念レース (R7.9.7 岩手県盛岡市) 及び副賞授与(4名分)
- ④地方競馬ミルクウィーク (R8.3.15 岩手県奥州市)
- ⑤馬伝統行事 2件 (八戸騎馬打毬、十和田流鎗馬観光連盟)
- ⑥十和田流鎗馬のPR活動及び県産畜産物の普及啓発 (十和田市 R7.10.19)

## 5. 養蜂対策事業

青森県養蜂協会の事務局運営を実施したほか、はちみつの品質向上のため「はちみつ品評会」を開催した。

- ・はちみつ品評会 (R7.10.31 青森市) 出品数 67点

## 特別会計

### 1. 補給金事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度(機構補助・積立助成金 11,061,300 円、補てん金 1,147,700 円)

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため、肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格を下回った場合に、その価格差を補填する肉用子牛生産者補給金制度の運営を行った。

令和7年度は、第8業務対象年間の1年目となっており、「その他の肉専用種」(日本短角種等)について、平均売買価格が保証基準価格を下回り、発動があった。子牛の個体登録頭数は、「その他の肉専用種」が前年度より増加し、「黒毛和種」、「乳用種」及び「交雑種」は減少した。全体では前年比93.2%の10,673頭となった。

① 生産者補給金交付契約締結状況 (単位:戸)

区分	個人	農協	農事組 合法人	株式 会社	有限 会社	市町村	その他	計
3年度末	673	3	1	15	10	0	2	704
4年度末	675	3	1	16	10	0	2	707
5年度末	686	3	1	19	10	0	1	720
6年度末	694	3	1	19	10	0	2	729
7年度末	536	3	1	16	8	0	2	566

② 事務委託先契約締結状況 (単位:件)

区 分	総合農協	専門農協	そ の 他	計
3年度末	8	5	1	14
4年度末	8	5	1	14
5年度末	8	5	1	14
6年度末	8	5	1	14
7年度末	8	5	1	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳 (単位:頭)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
継続	497	0	0	5	34	536
新規	7,037	0	58	230	2,812	10,137
計	7,534	0	58	235	2,846	10,673

④ 保証基準価格と合理化目標価格 (単位:円/頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	574,000	523,000	334,000	164,000	274,000
合理化目標価格	446,000	406,000	259,000	110,000	216,000

⑤ 肉用子牛1頭当たりの生産者積立金及び負担区分（令和7年4月登録分から）（単位：円）

品種区分	生産者積立金	負担区分		
		農畜産業振興機構	青森県	生産者
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
その他の肉専用種	20,000	10,000	5,000	5,000
乳用種	5,000	2,500	1,250	1,250
交雑種	2,400	1,200	600	600

⑥ 生産者積立金造成内訳（単位：頭、円）

品 種	個体登録頭数	積立金単価	積立金所要額	負担区分		
				機構(1/2)	青森県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	継続	497	1,600	—	—	198,800
	新規	7,037	1,600	—	—	2,814,800
	計	7,534	—	12,054,400	6,027,200	3,013,600
褐毛和種	継続	0	6,000	—	—	0
	新規	0	6,000	—	—	0
	計	0	—	0	0	0
その他の肉専用種	継続	0	18,800	—	—	0
		0	20,000	—	—	0
	新規	1	18,800	—	—	4,700
		57	20,000	—	—	285,000
計	58	—	1,158,800	579,400	289,700	289,700
乳用種	継続	5	6,800	—	—	8,500
		0	5,000	—	—	0
	新規	99	6,800	—	—	168,300
		131	5,000	—	—	163,750
計	235	—	1,362,200	681,100	340,550	340,550
交雑種	継続	24	3,200	—	—	19,200
		10	2,400	—	—	6,000
	新規	872	3,200	—	—	697,600
		1,940	2,400	—	—	1,164,000
計	2,846	—	7,547,200	3,773,600	1,886,800	1,886,800
合 計	継続	536	—	—	—	225,450
	新規	10,137	—	—	—	5,079,500
	計	10,673	—	22,122,600	11,061,300	5,530,650

（注）個体登録頭数は令和7年1月～12月分（2段書きは上段：1～3月、下段：4～12月）

⑦ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

区 分	保証基準価格の品種区分						合 計				
	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種						
1 期首 残高	①生産者積立金							0			
	②生産者積立準備金							—			
	内 訳	③生産者の負担金充当分							—		
		④都道府県の生産者積立助成金充当分							—		
		⑤機構の生産者積立助成金充当分							—		
2 生産者積立金積立実績	⑥生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)							8,842,000			
	⑦生産者積立準備金からの繰入額 (⑩+⑬+⑯)							3,212,400			
	⑧ 計							12,054,400			
	内 訳	生産者	⑨負 担 金							2,814,800	
			⑩生産者積立準備金(③からの繰入額)							198,800	
			⑪ (小計)							3,013,600	
	内 訳	都道府県	⑫生産者積立助成金							0	
			⑬生産者積立準備金(④からの繰入額)							3,013,600	
			⑭ (小計)							3,013,600	
	内 訳	機構	⑮生産者積立助成金							6,027,200	
			⑯生産者積立準備金(⑤からの繰入額)							0	
			⑰ (小計)							6,027,200	
			その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄附又は補助された財産							0
											0
	3 他の資産からの繰入状況等	⑲特別の積立金から生産者積立金への繰入れた金額							0		
		⑳調整積立金から生産者積立金への繰入れた金額							0		
		㉑交付した補給金の生産者からの返還額							0		
		㉒生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額							0		
㉓生産者積立金に係る運用果実							3,877				
㉔生産者積立準備金に係る運用果実							—				
㉕生産者補給金交付額 (㉑を含む)							0				
㉖生産者積立金からの借入金返済額							0				
㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額							0				
㉘生産者積立金からの返還額 (生産者分)							0				
㉙生産者積立金からの返還額 (県分)							0				
㉚生産者積立金からの返還額 (機構分)							0				
㉛特別の積立金から生産者積立準備金への繰入額							0				
㉜生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)							—				
㉝生産者積立準備金からの返還額 (県分)							0				
㉞生産者積立準備金からの返還額 (機構分)							—				
4 期末 残高	㉟生産者積立金(①+⑧+⑩+⑫+⑮+⑰+⑲+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛)							0			
	㊱生産者積立準備金(②+⑦+⑨+⑬+⑯+㉜+㉝+㉞)							—			
	内 訳	㊲生産者の負担金充当分							—		
		㊳都道府県の生産者積立助成金充当分							—		
		㊴機構の生産者積立助成金充当分							0		

## ⑧ 特別の積立金管理状況

(単位:円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高					0		0
増 加	特別納付金				0		0
	受入利息				0		0
	生産者積立金返還金				0		0
	小計				0		0
減 少	普通財産へ繰入				0		0
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	小計				0		0
期末残高					0		0

## ⑨ 償還円滑化積立金管理状況

(単位:円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高			128,875		290,316	9,044,564	9,463,755
増 加	生産者積立準備金より繰入		0		0	0	0
	受入利息		278		627	19,531	20,436
	小計		278		627	19,531	20,436
減 少	機構へ償還		0		0	0	0
	全国協会へ償還		0		0	0	0
	小計		0		0	0	0
期末残高			129,153		290,943	9,064,095	9,484,191

⑩ 生産者補給交付金交付状況

(単位:頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛 和種	褐毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
令和7年 1月1日 ～ 令和7年 3月31日	交付対象 頭数 ①	販売			2			2
		保留			21			21
		合計			23			23
	②生産者補給金単価				49,900			-
	③生産者補給金交付額 (①×②)				1,147,700			1,147,700
交付対象生産者数				6			6	
令和7年 4月1日 ～ 令和7年 6月30日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
	②生産者補給金単価							-
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
交付対象生産者数								
令和7年 7月1日 ～ 令和7年 9月30日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
	②生産者補給金単価							-
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
交付対象生産者数								
令和7年 10月1日 ～ 令和7年 12月31日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
	②生産者補給金単価							-
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
交付対象生産者数								
令和7年 合計 1月1日 ～ 12月31日	交付対象 頭数	販売			2			2
		保留			21			21
		合計			23			23
	生産者補給金交付額				1,147,700			1,147,700
	交付対象生産者数				6			6

## 2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業費 79,294,878円）

肉用牛肥育経営安定交付金制度の積立金管理者として、生産者積立金の徴収及び基金管理について適正に運営した。

### (1) 令和7年度（4～3月）基金管理状況（第2業対 令和8年3月31日現在）（単位：円）

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		87,555,888	269,018,716	211,633,960	568,208,564
収 入	生産者積立金	187,000	26,000	40,000	253,000
	機構交付金	(10,210,762)	0	(27,190,671)	(37,401,433)
	計(B)	10,397,762	26,000	27,230,671	37,654,433
基金累計額(C=A+B)		97,953,650	269,044,716	238,864,631	605,862,997
支 出	補填金交付額(積立金)	3,403,630	0	9,063,563	12,467,193
	補填金交付額(機構)	(10,210,762)	0	(27,190,671)	(37,401,433)
	基金返戻金支出	84,339,258	269,044,716	202,610,397	555,994,371
	計(D)	97,953,650	269,044,716	238,864,631	605,862,997
基金残額(C-D)		0	0	0	0

### (2) 令和7年度（4～3月）基金管理状況（第3業対 令和8年3月31日現在）（単位：円）

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		0	0	0	0
収 入	生産者積立金	182,932,000	151,963,000	123,282,000	458,177,000
	機構交付金	(72,258,706)	(10,258,358)	(117,965,539)	(200,482,603)
	受取利息	182,747	305,567	222,500	710,814
	計(B)	255,373,453	162,526,925	241,470,039	659,370,417
基金累計額(C=A+B)		255,373,453	162,526,925	241,470,039	659,370,417
支 出	補填金交付額(積立金)	24,086,325	3,419,485	39,321,875	66,827,685
	補填金交付額(機構)	(72,258,706)	(10,258,358)	(117,965,539)	(200,482,603)
	計(D)	96,345,031	13,677,843	157,287,414	267,310,288
基金残額(C-D)		159,028,422	148,849,082	84,182,625	392,060,129

## 2 家畜衛生対策

### 1. 補助事業

#### (1) 家畜生産農場衛生対策事業（国補助・事業費 5,388,134円）

症状が明確でない慢性的な伝染性疾病や、清浄化が困難な伝染性疾病を清浄化し発生・流行を防止するため、生産者サイドでの自主的かつ組織的な取組を推進した。

##### ① ヨーネ病早期清浄化のための自主淘汰の推進

・ 患畜同居牛の自主淘汰 6頭

##### ② 牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染拡大防止の推進

・ 獣医師講習会 1回（R7.8.6 東北町）

・ 抗体検査 0頭(0戸)

・ 吸血昆虫の忌避駆除対策 4農場

##### ③ 牛ウイルス性下痢（BVD）対策

・ PCR検査 778頭

・ バルク乳検査 0件

・ PI牛の自主淘汰 0頭(0戸)

##### ④ 牛サルモネラ症対策

・ 抗体検査 259頭

・ ワクチン接種推進 1,042頭

##### ⑤ 農場飼養衛生管理強化対策

・ アカバネ病ワクチン接種推進 4,435頭

#### (2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助・事業費 469,064円）

牛海綿状脳症（BSE）の的確な浸潤状況を把握し効果的な対策を行うため、死亡牛（月齢に関係なく、症状からBSEを否定できない牛及び特定症状を示す牛）について、検査のための採材などに対して、助成を行う。

・ 死亡牛の検査促進費、検体提供費の補助 対象頭数 0頭

#### (3) 獣医師養成確保修学資金給付事業（国補助・事業費 834,170円、共同負担者 600,000円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発と、獣医師養成確保修学資金の給付を行った。

① 修学資金給付者 1名（1,200,000円）

② 共同負担者（NOSA I 1名）

#### (4) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,495,594円）

家畜伝染病の発生予防・まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動として推進会議及び防疫演習を実施した。また、農場HACCP認証取得の構築指導を実施するとともに、既認証農場に対する内部検証等の取組を支援した。

① 地域自衛防疫取組促進 事業推進検討会等開催 2回（R7.6.30、R8.2.13青森市）

##### ② 地域自衛防疫活動推進

・ 防疫演習4地域（R7.9.9 弘前市、R7.9.25 十和田市、R7.10.28 むつ市、R7.10.29 青森市）

③ 馬伝染性貧血自衛検査 競馬場入厩馬の自衛検査 0頭

##### ④ 地域農場HACCP認証支援

・ 農場HACCP普及推進協議会・講習会 2回（R7.6.30、R8.2.13 青森市）

・ 地域取組活動：意見交換会 1回（R7.8.18 七戸町）

・ 農場HACCP認証取得に係る構築指導 2戸（養豚 1戸、養鶏 1戸）

- (5) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策 推進協議会助成・事業費 934,929円）  
全国的な野生獣（シカ、イノシシ）の増加を踏まえ、地域の畜産及び野生獣関係機関、団体等が連携し、衛生実態調査成績の検討を行う協議会等を開催した。また、猟友会等の協力により捕獲した野生獣の衛生実態調査を実施した。
- ① 青森県野生獣衛生対策連絡協議会 2回（R7.9.12東北町、R8.2.13青森市）
  - ② 野生獣の衛生対策推進講習会（動画配信）  
〔家畜衛生対策推進協議会（事務局：中央畜産会）主催の講習会〕  
・演題「野生イノシシにおける豚熱の流行状況と対策」  
・講師 鹿児島大学 共同獣医学部 南九州畜産獣医学教育研究センター 特任助教 伊藤 聡 氏
  - ③ 野生獣衛生実態調査 ニホンジカ 8頭、イノシシ13頭
- (6) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会助成・事業費 894,228円）  
馬の生産、流通の広域化等を背景とした県内への伝染性疾病の侵入や流行を防止するため、競走馬以外の馬を対象として飼養衛生に関する講習会や実態調査等を実施した。
- ① 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会 2回（R7.7.9十和田市、R8.2.13青森市）
  - ② 馬飼養衛生管理技術地方講習会 1回（R7.11.21十和田市）  
・講演「馬の皮膚病とその対策について」  
・講師 日本中央競馬会 馬事部 生産対策育成室 久米 紘一 氏
  - ③ 馬飼養衛生普及検討会 1回（R7.11.1十和田市）  
・講演①「鹿児島大学馬臨床実習（伝達講習）について」  
・講師① 青森県上北農林水産事務所 中央家畜保健衛生所 技師 土岐 翠 氏  
・講演②「レポジトリー検査について」  
・講師② イチヤマホースクリニック 一山 雄二郎 氏
  - ④ 馬獣医療実態調査 9戸
- (7) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,684,195円）  
乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザや、馬鼻肺炎のワクチン接種の推進と感染症対策の普及啓発を行った。
- ① 検討会の開催 2回（R7.7.9十和田市、R8.2.13青森市）
  - ② 馬インフルエンザ予防接種 326頭
  - ③ 馬鼻肺炎予防接種 216頭
- (8) 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会助成・事業費 1,285,515円）  
軽種馬生産地における伝染性疾病の発生流行防止のため、育成馬の予防接種を徹底した。
- ① 馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 302頭
  - ② 馬インフルエンザ予防接種 37頭
- (9) 地域養豚生産衛生向上対策支援事業（中央畜産会助成・事業費 13,420,098円）  
飼養衛生管理基準に基づき、地域一体となって疾病の発生低減と清浄化を図るため、定期疾病検査や、農場内の生産性を阻害する原因の解析を行ったほか、効果的な疾病対策を検討するための推進会議と講習会を開催した。
- ① 地域推進会議 3回（R7.7.14、R7.10.29、R8.3.24 東北町）
  - ② 巡回指導 2回（4農場）
  - ③ モニタリング検査 豚農場 10戸、（13農場）、5疾病、2回、（延べ3,905件）  
（PRRS、豚胸膜肺炎、マイコプラズマ肺炎、豚増殖性腸炎、サーコウイルス1回・拭き取り検査）
- (10) 青森県獣医師確保修学資金給付事業（県補助・事業費 6,062,570円）  
将来、青森県の県獣医師へ就業を志す学生に対し、大学入学前に大学に納付する費用を給付した。（新規4名（国立2名 私立2名））

## 2. 受託事業

### (1) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会委託・事業費 1,863,156円）

CSF（豚熱）やASF（アフリカ豚熱）、口蹄疫等の悪性伝染病が発生した場合の畜産経営への影響を緩和するため、経営再開までに必要な経費を互助補償する仕組への加入推進を図った。

また、飼養衛生管理基準が遵守されるよう、契約者や関係団体へ啓発するためのパンフレットを配布した。

#### ① 対象伝染病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱(ASF)、豚熱(CSF)

#### ② 互助金交付対象

- ・法に基づき殺処分した農場が経営再開のために家畜を導入した経費
- ・殺処分した家畜を焼却・埋却するため自ら負担した経費

#### ③ 契約締結状況（7年度末）

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額	備考
牛	514	59,234	8,753,855	
豚	27	327,078	31,113,730	
計	541	386,312	39,867,585	

#### ④ 豚熱の発生が続き、基金が大幅に減少したため、既存契約者に対し、加入内容に応じ追加単価を乗じた積立金の追加納付を行った。(27戸)

### (2) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業（中央畜産会委託・事業費 973,558円）

畜産物の輸出は、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応等、生産段階での対応が必要となるため、地域の特性や畜産物輸出の実態に応じて、パンフレットの配布や研修会を行い輸出に対する生産者の理解醸成と意識の向上を図った。

#### ① セミナー開催 1回（R7.11.13 青森市）

- ・演題① 「和牛輸出をめぐる動向」について
- ・講師① （一社）日本畜産物輸出促進協会
- ・演題② 「畜産の輸出に係る実務の流れ」について
- ・講師② 株高橋リサーチ&コンサルティング

#### ② パンフレット配布及びアンケート調査 配布47件（R8.1.14）

## 3. 協会単独事業（自主事業）

### (1) 自衛防疫強化対策事業（事業費 316,620円）

最近の家畜飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業が効率的に推進できるよう、会議を開催した。

#### ① 事業推進会議 県推進会議 2回、地域推進会議 4回 （R7.6.30・R8.2.13 青森市、R8.3.9～3.14 各地区）

### (2) 自主防疫推進事業（予防接種事業）（事業費 37,836,450円）

家畜伝染病の発生・流行を防止するため、国・県の指導のもとに、生産者や市町村、関係団体、地区家畜衛生推進協議会による防疫体制を強化しながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業を円滑に推進した。（実績頭羽数：付表のとおり）

### (3) 総合指導事業（事業費 319,253円）

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成や指定獣医師の技術向上等のための取組を行った。

#### ① 家畜防疫地域活性化促進事業 2地区実施 （津軽地区）産業動物獣医療安定確保対策事業

治療・繁殖検査等の診療機会の充実を図るため、肉用牛農家に対し、獣医師の定期的な巡回を行った。(12回・延べ36戸)

(県南・津軽地区) ミルキングシステム点検事業

乳質の向上と乳房炎の発生を予防するため、正しい搾乳技術とミルキングシステムの点検を行った。(実施戸数：県南3戸、津軽1戸)

② 研修事業 獣医師研修会

地区研修会等開催状況 開催協議会 2地区、開催回数 2回

③ 家畜衛生功労者表彰 なし

④ 事故対策費 0件

(4) 自衛防疫指導円滑化事業 (事業費 1,020,000 円)

地区家畜衛生推進協議会が自衛防疫関連事業及び研修広報事業等を円滑に行うための支援を行った。(県南、津軽)

(5) 死亡牛処理管理促進事業 (事業費 310,030 円)

死亡牛処理に係る産業廃棄物処理票(マニフェスト)の保管・管理等の適正に行い、死亡牛処理を円滑に推進した。(取扱頭数 3,273 頭)

付 表

(1) 自主防疫推進事業実績 (令和7年度)

① 家畜伝染病予防接種実績頭数

(単位: 円/頭・羽)

区 分	7年度 計画頭数	7年度 実績頭数	地区協議会別実績頭数		
			県南	津 軽	
<b>(1) 補助等事業</b>					
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	265	302	} 協会直接事業	
	馬インフルエンザ (不)	35	37		
	馬 鼻 肺 炎 ( 生 )	250	216		
	馬インフルエンザ (不・自衛防)	170	163		
<b>(2) 協会事業</b>					
牛	牛 ア カ バ ネ 病	5,290	4,435	3,867	568
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	5,650	4,172	3,638	534
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	975	556	512	44
	牛伝染性鼻気管炎(6種)(生)	500	317	317	0
	牛ヘモフィルス感染症	4,675	3,333	3,054	279
	牛レプトスピラ感染症・パスツレラ感染症 ・マニフィア感染症3種混合	300	596	347	249
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	3,900	3,588	2,968	620
	牛下痢5種混合(不)	85	96	0	96
豚	豚 丹 毒 (生20m l)	12,800	9,086	9,086	0
	豚 丹 毒 (生50m l)	17,000	18,925	18,925	0
	豚丹毒・萎縮性鼻炎(混)	6,600	7,100	6,000	1,100
	日 本 脳 炎 ( 生 )	450	420	420	0
	日本脳炎・豚バルボ混合(生)	900	3,400	3,300	100
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	150	155	} 協会直接事業	
	馬インフルエンザ (不)	10	7		
	日 本 脳 炎 ( 不 )	0	0		
	馬 鼻 肺 炎 ( 生 )	0	0		
鶏	ニューカッスル病・IB(混)	72,000	92,000	0	92,000